

生き方を見つめる

第1学年主任

1月24日、特別養護老人ホームやなぜ苑の高島淳心様を講師として、「福祉・介護の出前講座」を実施しました。高島様には、介護の仕事内容や福祉に携わることの喜びについてお話しいただきました。福祉の仕事に興味をもったり、思いやりのあるコミュニケーションについて振り返ったりと、生徒たちにとって大きな学びになりました。

生徒は今、進路適性診断の結果も参考にしながら、選択肢の幅を広げています。また2年生になれば、「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」が実施されます。働くことの意義について考え、自分の生き方を見つめる機会が増えていきます。

様々なことに興味をもち、挑戦を通して可能性を開いていく姿を、これからも応援したいと思います。



頭を使う体操にチャレンジしています

3年生に向けて大きく「進化」！

第2学年主任

学年目標「進化～互いに高め合い、一人一人が輝く最高の学年にしよう～」のまとめの時期となりました。生徒会委員会活動は3年生から2年生にバトンタッチし、部長会は応援の練習を開始して、伝統を引き継ごうとします。令和7年度前期生徒会役員選挙では、多くの候補者が、次年度の生徒会活動に向けた思いを精一杯述べました。また、4月に予定している修学旅行に向けて、実行委員が立ち上がり、平和学習や班別学習等が充実したものになるように準備を進めています。



キャリアリーダーが学年集会で発表しています

キャリアリーダーは、3年間のキャリア学習の集大成として、修学旅行1日目の学級別活動がどのコースも魅力的なものになるように、アンケート調査を何度も行い、学年集会でプレゼンしたりして一人一人の思いに向き合いました。

どの活動にも「ねらい」があり、学年全体が互いに高め合いながら3年生に向けて大きく進化し続けています。今後の成長が楽しみです。

卒業まで出中生として

第3学年主任

3年生にとって最後となった生徒総会では、卒業を前にして自分たちの思いを後輩に伝えようとする意識が感じられる場面が多々ありました。委員会等の代表生徒として意見を発表する姿だけではなく、これまでの経験から感じたことや、これからさらに成長した出町中学校にしてほしいという思いから、多くの3年生が自分の意見を全校生徒の前で発表しました。生徒総会後のアンケートには「卒業するまで出町中学校の生徒の一員として自分にできることを最後までやり続けたい」と書いた生徒もいました。初めての進路選択が迫っている中でも、今の自分ができていることに本気で取り組もうとする3年生の姿に心の成長を感じます。

あと少しで卒業です。学年目標である「全力」で、中学校生活でしかできないことに最後まで挑戦を続けてほしいと思います。



生徒総会で思いを伝える3年生